

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



民間保育園建替補助事業

民間保育園の老朽化に伴う建替について、施設整備を支援し、定員拡大など保育環境の充実を図りました。

【寄附者の声】

子どもを持つ母として、根室市も子育てのしやすい魅力あふれる街になることを祈っています。
働くママに優しい街を目指してください！

実施期間：平成28年4月25日～平成29年3月25日



担当者

施設の建替えにより、耐震性の確保が図られるとともに、定員が60名から90名となり、保育環境を改善することができました。

寄附金活用金額

43,365 千円

総事業費

141,706 千円

所管部署

市民福祉部



子ども医療費給付事業

高校を卒業するまでのお子さんを対象に医療費の助成を行い、疾病の早期発見と治療により子どもの健康増進と子育て世帯の経済的負担軽減を図りました。

【寄附者の声】

子どもの医療費の助成制度の充実など子どもたちに優しい街になってくれることを期待しています。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日



担当者

平成28年度より中学生及び高校生の入院医療費へ対象を拡大し、助成を行いました。
中学生及び高校生の入院医療費給付は延べ22件となりました。

寄附金活用金額

791 千円

総事業費

60,135 千円

所管部署

市民福祉部

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



落石ふるさと館（保育所）整備事業

老朽化が著しい地域会館とへき地保育所を複合型交流施設として整備するため実施設計などを行いました。

【寄附者の声】

寒さの厳しい土地ですが、地域のコミュニティを守り豊かな故郷を大切にしてください。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

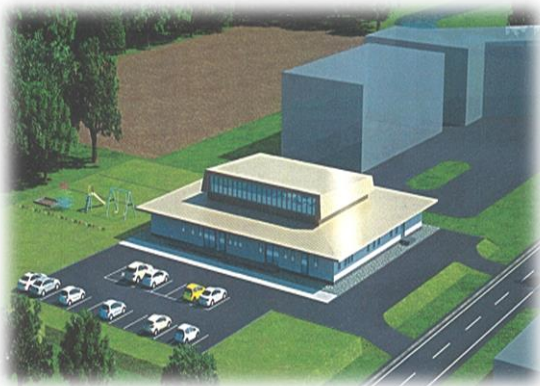
5,255 千円

総事業費

5,255 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成29年度の建設着工に向け、地域住民との話し合いや測量調査、基本・実施設計などを行いました。



農業後継者対策事業

基幹産業である農業の持続的発展に寄与するため、農業後継者のパートナー対策として、都市部の女性との出会いの機会を設けました。

【寄附者の声】

農業は、大変なことたくさんあると思います。頑張ってください。応援してます。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

450 千円

総事業費

450 千円

所管部署

農業委員会



担当者

平成28年度は9月・11月の2回の交流会を実施し、都市部から訪れた女性と農業後継者の男女12名が農業体験を通じて酪農への理解を深めながら交流を図りました。

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



乳児全戸訪問事業（乳児家庭訪問相談）

新生児が出生した家庭を保健師・保育士が訪問し、親子の心身状況や養育環境などを把握するとともに、育児相談や子育てに関する情報提供を行うなど、母子の不安解消に努めました。

【寄附者の声】

根室で育つ子どもたちの健やかな成長のためにお使いください。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日



担当者

市内全167戸を訪問し、新生児の発育状況の確認や子育て支援施設のご案内、きょうだいの赤ちゃん返りの相談など、各家庭のニーズに沿った支援を行いました。

寄附金活用金額

3,462 千円

総事業費

4,178 千円

所管部署

市民福祉部



多子世帯保育料無料化事業（保育所保育料）

保育所（園）に通う満22歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯に対し、3子目以降の保育料を無料とし、保護者の経済的負担の軽減を図りました。

【寄附者の声】

私は共働き世帯ですので、同じようにお仕事に子育てに頑張られている家庭の為に施策に利用していただければと思っております。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日



担当者

平成28年度は、98世帯109名の保育料が無料化となりました。

寄附金活用金額

19,816 千円

総事業費

19,816 千円

所管部署

市民福祉部

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



多子世帯保育料等無料化事業（幼稚園保育料等）

幼稚園へ通う満22歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯に対し、3子目以降の入園料及び保育料を無料として、保護者の経済的負担の軽減を図りました。

【寄附者の声】

子どもが充分に学べる環境を整えてあげてください。子育てにやさしいまちになって頂けるよう応援しております。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

8,255 千円

総事業費

8,255 千円

所管部署

市民福祉部

平成28年度は、47世帯52名の入園料や保育料が無料化となりました。



担当者



ひとり親生活支援事業

満3歳までの乳幼児を養育し児童扶養手当を受給しているひとり親家庭へおむつなどの購入に利用できる育児用品券（幼児1人につき月額4千円）を支給し保護者の経済的負担の軽減を図りました。

【寄附者の声】

ひとり親でも安心して出産・育児ができ、子育てがしやすい街になることを願っています。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

734 千円

総事業費

734 千円

所管部署

市民福祉部

平成28年度は、24世帯26名に対し、延べ188件の育児用品券を支給しました。



担当者

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



出産支援事業

市外での分娩時の入退院に伴う交通費などの経済的な負担軽減を図るため、出産支援金として一律3万円を助成しました。

【寄附者の声】

出産支援など出産を迎える女性たちが不安なく出産・育児ができるような施策に活用して下さい。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

4,775 千円

総事業費

4,775 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成28年度は、160件の出産に対して支援を行いました。



特定不妊治療費等助成事業

不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、北海道の特定不妊治療費助成金に上乗せして治療費の一部に加え、治療に係る交通費や宿泊費の一部を助成しました。

【寄附者の声】

不妊治療費の助成など若い人たちのサポート体制を整えて下さいますように。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

1,731 千円

総事業費

1,731 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成28年度は、延べ12件の助成を行いました。

(1)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト



みらいのアスリート応援事業

未来のアスリートを目指して活動する児童生徒の意識高揚や、地域で応援する気運の醸成を図るため、全国大会及び全道大会の出場に係る交通費などの経費を補助し、小学生から高校生までのスポーツ活動を支援しました。

【寄附者の声】

児童・生徒の健全な育成とスポーツの振興に期待しています。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

3,177 千円

総事業費

3,177 千円

所管部署

教育委員会



担当者

全国大会で1件2名、全道大会で27件225名の大会出場を支援しました。



市有地分譲事業（子育て世帯向け）

子育て支援の一環として、市街地における未利用地を6区画整備し、子育て世帯を対象に分譲しました。

【寄附者の声】

人口減などの問題を抱えて大変だと思いますが、若い世代の人々が定住できる魅力ある街づくりに是非取り組んでいってください。

実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

寄附金活用金額

8,856 千円

総事業費

8,856 千円

所管部署

総務部



担当者

利便性の良い市街地の未利用市有地の環境を整備し、2組の子育て世帯へ分譲しました。